

ナガサキシダ

Dryopteris sieboldii (van Houtte ex Moore) O. Ktze.

オシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

確認されている生育地は1カ所、1個体である。(現況:RO)

形態

常緑。葉は1回羽状複葉で厚い革質。根茎は太くて短く、葉柄に褐色または黒褐色で少数の葉をつける。葉身は全縁ないし幅の広い鋸歯がある。葉は頂羽片と2～6対の側羽片からなり、ほぼ同形である。葉に2形あって胞子葉はやや細長い。胞子嚢は縁を除いて散在する。包膜は円腎形である。

国内分布

本州(関東以南の外帯)、四国、九州。

県内分布

加賀中央区。

生態など

常緑性の地表植物で根茎から葉を叢生する。やや好陰湿潤地性、繁殖は根茎と孢子による。孢子は晩春に熟し始め、風で散布する。無配生殖を行う。

生育環境

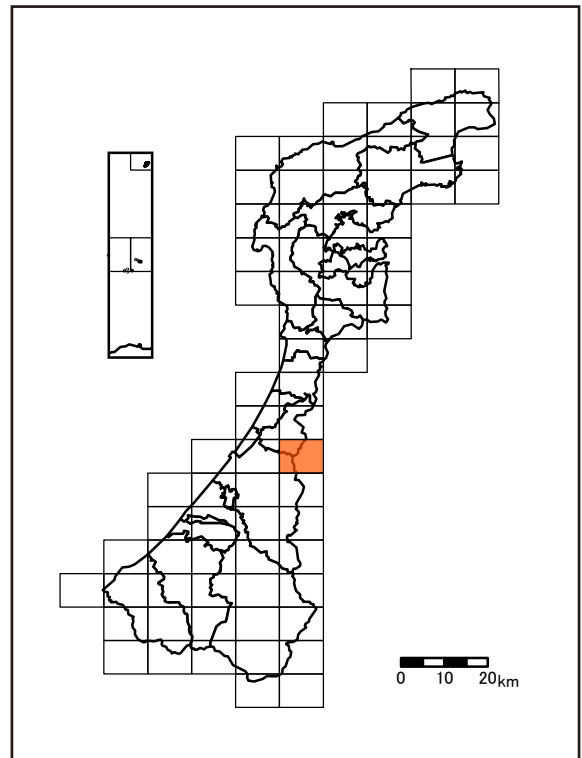
県内では、ヤブツバキクラス域のスギ植林地の林内地上に生育する。

危険要因

森林伐採、産地局限。



小野ふみゑ・2005年1月30日・加賀



県内の分布